

## 上田市協働のまちづくり指針の改定について ～上田市におけるこれからのまちづくりに向けた提言を踏まえて～

### 1 趣旨

上田市は合併から 20 年が経過し、住民自治組織についても、設立から早い地域で 10 年以上が経過しています。この間、人口減少・少子高齢化の進行、地域活動の担い手不足など、地域を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした状況を踏まえ、今後のまちづくりのあるべき姿や推進体制のあり方を検討するため、市では、これまでのまちづくり施策を検証し、学識経験者(千葉大学大学院の関谷昇教授)から専門的な知見をお伺いしながら、今後のまちづくりの体制の再構築に向けた検討を進めてまいりました。

このたび、学識経験者から「上田市におけるこれからのまちづくりに向けた提言書」が提出されたことから、今後市では、本提言の内容を踏まえ、「上田市協働のまちづくり指針」の見直しを進め、持続可能な地域づくりと協働によるまちづくりのさらなる推進を図ります。

### 2 提言に至る経過

- (1) 第 10 期(R6～R7) 地域協議会への意見照会(R6.6 月)
  - ア 上田地域における地域協議会の設置単位及び委員数等の見直しについて(R7.3 月意見書提出)
  - イ 地域における住民自治組織の役割と今後の在り方について
- (2) 各地域協議会で提言書作成に向けて、調査やヒアリング等を実施(R6～R7)
- (3) 地域協議会からイについて意見書提出(R7.10 月)
- (4) 地域協議会、市自治会連合会と学識経験者(関谷教授)との意見交換(R7. 12 月)
- (5) 学識経験者(関谷教授)との協議(R8. 3 月)
- (6) 提言書の提出(R8.6 月)

### 3 「上田市におけるこれからのまちづくりに向けた提言書」(別紙)の主な内容

テーマ:「トップダウンからボトムアップへ」の転換を基本とした、地域主体のまちづくりの推進

- (1)地域コミュニティの再構築
  - ・地域コミュニティにおける各種団体の活動の棚卸
  - ・補完性の原則に基づいた、役割の再設定
  - ・住民自治組織を地域の横断的ハブとして機能強化
  - ・若者・企業等の参画拡大とデジタルの活用
  - ・多様な主体が連携する場(プラットフォーム)と情報共有の強化
- (2)行政の役割転換
  - ・「支援」から「共創」へ転換、地域に対する補完的役割
  - ・事業整理と役割分担の見直し
  - ・地域のプラットフォーム確立、連携に向けた支援
  - ・庁内横断体制と地域拠点(自治センター、公民館)の機能強化

### (3)推進体制・計画

- ・協働の指針を見直し、現状課題を踏まえた協働の再定義
- ・中長期ビジョンを策定し、段階的に整理・試行・体制整備・定着へと進める

## 4 令和 8 年度の市の取組み

- ・地域協議会に諮りながら「上田市協働のまちづくり指針」を改定
- ・「上田市協働のまちづくり指針」の改正に合わせ、講演会を開催
- ・住民自治組織を調整役とした地域における協議体制づくりに向けた検討

## 5 今後の予定

|        |          |                                   |
|--------|----------|-----------------------------------|
| 令和 8 年 | 7 月～8 月  | 上田市協働のまちづくり指針(見直し素案)作成            |
|        | 8 月～     | 指針(素案)を各地域協議会へ意見照会<br>各地域協議会で意見交換 |
|        | 11月～12 月 | 各地域協議会から意見まとめ提出                   |
|        | 12 月     | 指針(案)の修正                          |
| 令和 9 年 | 1 月      | 市民意見募集(パブリックコメント)<br>まちづくり講演会     |
|        | 2 月      | 各地域協議会で指針(案)の最終確認                 |
|        | 4 月      | 公表                                |